

感染対策情報 令和5年9月 薬剤耐性 (AMR) と感染対策

AMR対策は「抗菌薬の適正使用」+「感染対策」の両方が求められます！
個々の医療機関の努力だけではなく地域で連携した取り組みが必要です！

●薬剤耐性 (AMR: Antimicrobial Resistance)

感染症の原因となる微生物 (細菌・ウイルスなど) に本来であれば効くはずの薬が効かなくなること

●感染対策 (医療者側、患者側でできること)

1. 抗菌薬の正しい知識を身につける

例：抗菌薬はかぜに効かない、
抗菌薬は解熱剤ではない、など

2. 手洗い・ワクチン接種

医療機関では、標準予防策、
感染経路別予防策の実施など

3. 医師、薬剤師への相談

他人に薬をあげない、もらわない
過去に処方された薬を取っておかない



参考：AMR臨床
リファレンスセンター

かしくく治して、明日につなぐ
～ 抗菌薬を上手に使ってAMR対策～

ウイルスに
抗菌薬は効きません!

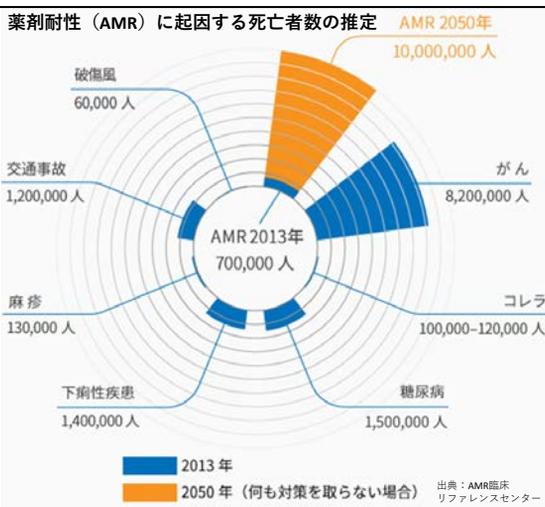


AMR臨床リファレンスセンター
Antimicrobial Resistance Clinical Reference Center



★AMR対策を実施しないとどうなる？

2050年までに全世界における死亡者数は1000万人に上り、がんによる死亡者数を上回ると推計されています。経済的な影響も大きく、世界の年間国内総生産 (GDP) は、2050年には2017年比で3.8%減少する可能性があり、この数値は2008年に発生した金融危機と同程度であることから、世界経済が危機的状況に陥るの明白であるとも言われています。



AMRアクションプラン
2023-2027 (抜粋)

成果指標 (数値目標)

抗菌薬全使用量15%減
カルバペネム系静注抗菌薬20%減

薬剤耐性率減少
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) 感染症罹患数 80人以下

日本政府におけるAMR対策の取り組み

薬剤耐性 (AMR) に起因する感染症による疾病負荷のない世界の実現を目指し、薬剤耐性 (AMR) の発生をできる限り抑えるとともに、薬剤耐性微生物による感染症のまん延を防止する。詳細はQRコード参照



参考：薬剤耐性 (AMR) 対策
アクションプラン2023-2027

薬剤耐性あるある川柳 (過去の受賞作の紹介)

第1回 耐性菌 増やす一言 「念のため」
第2回 変えていく 念のためから 明日のため
第3回 耐性菌 生むも無くすも あなたから
第4回 コロナにも 風邪にも効かぬ 抗菌薬
第5回 阻止しよう 使える薬が 無い未来
第6回 子や孫へ つなぐ薬の 効く未来